仕上サイズ
データ 297 232 右アキ
登録 297 232 右
天地 左右 アキ
CC 2017
FIGARO japon 8月号
12805937 0019
R-ニッポンニッタエ
色数 1
製版課 DIP制作2課 3R
製版者 白石
訂正回数 1
AF11D01 / 3P3R 表裏

Ie Message ニッポンに伝えたいこと。

愛してやまない思いが生んだ、幻のシャンパーニュ。

ボエル・アンド・クロフのシャンパーニュ……と聞いても、飲んだことはもちろん、目にしたことすらないという人がほとんどでは？　なにしろその生産量は、原則的にマグナムボトルでたったの3000本。レギュラーボトルにしてロマネ・コンティとほぼ同量の、知る人ぞ知る幻のシャンパーニュなのだから。

古くからワインに親しみ、とりわけシャンパーニュに目のないパトリック・サバテが、あくまで個人的な趣味として、友人のステファン・セセと1995年に造り始めたシャンパーニュ。実際の醸造は南部、コート・デ・バールのドラピエが請け負っている。「ボルドーのトップシャトーやブルゴーニュのグラン・クリュに匹敵するシャンパーニュを生み出したかった。ビジネスではなく、自分たちが愛飲する目的でね。そのために、毎年同じブドウ畑のピノ・ノワールを用い、単一年のブラン・ド・ノワール（黒ブドウを用いた無色のシャンパーニュ）に仕上げることをドラピエに相談したら快諾してくれました。さらに10年以上の長期熟成に耐えるよう、すべてマグナム以上のラージボトルに詰めています」。よって、まもなくリリースされるヴィンテージは2006年という気の長さだ。

冒頭「原則的に」と記した理由は、97年や03年のように、天候の影響からほかのヴィンテージとスタイルがあまりに異なる年はレギュラーボトルに詰め、いわゆるセカンドラベルの「B」としてリリースされるため。この「B」とて品質とレアさでは、本家本元のボエル・アンド・クロフに少しも引けを取らない。

at Kaigai Fine Wine Asia
パトリック・サバテ
Patrick Sabate
「ボエル・アンド・クロフ」オーナー

パトリックいわく「香り、味わい、そして気泡の弾ける音まで、まるで津波のように押し寄せてくる」というこのシャンパーニュ。15年に香港で開催されたクリスティーズのオークションでは、95年のジェロボアム（レギュラーボトル4本分）が189,875香港ドル（約260万円！）で落札されたとか。「シャンパーニュは何が好き？」と聞かれたら、「ボエル・アンド・クロフ」と答えられるようになりたい！

Profile

スペイン北東部カタルーニャ地方の出身。実家がコルクや樽用資材の販売業を営んでいた関係から、ワイン業界とのコネクションが深い。現在の本業はミネラルウォータービジネス。その傍ら、IT業界で活躍する友人のセテファン・セセと、ボエル・アンド・クロフに心血を注いでいる。

世界一小さな畑で生まれる、稀有なシャンパーニュ。

わずか1haの小さなブドウ畑で生産。メゾン名に特に意味はなく、「何それ？」と興味をそそられるよう、あえて読みづらいものに。一度飲めば、一生自慢できる。「ボエル・アンド・クロフ・ブリュット」1.5ℓ　¥000,000/海外酒販

新しいクラシックは、美しい生活から生まれる。

ザック・ポーゼンはスポットライトが似合う。パーティで女優とカメラに向かって微笑む時も、アメリカのファッション・リアリティ番組「プロジェクト・ランウェイ」でコメントする時も、人目を惹かずにはいられない華がある。でも取材に現れた彼は、スターデザイナーの表の顔とは異なる素顔を語り始めた。「21歳でこの世界に入った時、煌びやかでゴージャスなライフスタイルがもてはやされていました。そう、派手なジェットセッターのような生活です。でも私が満たされるのは、自然に根差したシンプルなスタイルだと気付いたんです。いまの夢は、大好きな庭で服作りだけに没頭することだよ」。彼は農園のような広い庭を持ち、収穫した野菜で料理をする。レシピ本を出版するほどの腕前だ。

at Brooks Brothers Showroom
ザック・ポーゼン
Zac Posen
「ブルックス・ブラザーズ」クリエイティブディレクター

豊かなスローライフも注目されるザック。2年前にブルックス ブラザーズのウィメンズコレクションの指揮を任された。「私はニューヨークのソーホーで生まれ育ち、父は画家、母は弁護士でした。当時、母はブルックス ブラザーズを着て忙しく働いていたんです」。子どもの頃から親しんできた、アメリカンクラシック。彼はその偉大なDNAを、時間をかけて大切に育てている。「いまの時代のクラシックを作りたいのです。それには素材の質を吟味すること、フィット感にこだわること、ボタンの重さからステッチまで、守るべきルールがあります」。服の原点を見直したシンプルなワードローブに袖を通すと、素材と仕立ての良さが伝わってくる。日々着る人の心を潤す健やかな美しさにあふれているのだ。

時々パンクテイストを入れたくなりませんか？と聞くと「あります（笑）。でも服を巡る状況が目まぐるしく変わるいま、時代を越えるクラシックに挑戦すること自体がパンク。アメリカではいま“ジェネレーションZ”という言葉が注目されています。1990年代半ば以降に生まれた若い世代を指すのですが、彼らは一過性のファストファッションに関心がないようなのです。200年の歴史を持つブランドの物作りの本質を彼らにも伝えていきたいですね」

Profile

1980年ニューヨーク生まれ。セントラル・セント・マーチンズなどで学び、2001年に自らのブランドでデビュー。16年春夏からブルックス ブラザーズのウィメンズ＆アクセサリーコレクションのクリエイティブ・ディレクターに就任。18年からは、デルタ航空の制服の監修も手がける。

マンハッタンを闊歩する女性の、新ユニフォーム。

2018年秋冬は働く女性のクローゼット。トレンチのディテールを取り入れたドレス¥000,000/ブルックス ブラザーズ（ブルックス ブラザーズ ジャパン）

photos : TSUKASA NAKAGAWA (Zac Posen), DAISUKE YAMADA (Patrick Sabate)
texte : MAKI SHIBATA (Zac Posen), TADAYUKI YANAGI (Patrick Sabate)

DNP使用機
ネーム校了紙
体裁校了紙
色調校了紙
色見本
※
FIGARO08_196_nihonni tutaetai_1.indd 196
2018/05/18 14:20